



500人

TICKET

参加無料

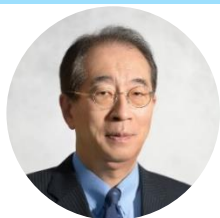
産学連携で実現する 人間中心社会のデザイン

大阪商工会議所 × 公立大学法人大阪 包括連携協定記念シンポジウム

8月9日（火）13:30-15:30

大阪商工会議所7階国際会議ホール

締結式（15:15～15:30）

**大阪商工会議所**鳥井 信吾
大阪商工会議所 会頭**公立大学法人大阪**
University Public Corporation Osaka西澤 良記
公立大学法人大阪 理事長

シンポジウム

開会挨拶（13:30～13:40）

**大阪公立大学**
Osaka Metropolitan University辰巳砂 昌弘
大阪公立大学 学長

キーノートスピーチ（13:40～14:00）

手代木 功
大阪商工会議所 副会頭
(塩野義製薬株式会社 代表取締役会長兼社長)

Theme

Well-beingの実現に向かう大阪の挑戦

産学連携研究紹介（14:00～15:10）

新大学における イノベーション・アカデミー構想

藤村 紀文
副学長（産学官協創・知財担当）
大学院工学研究科
電子物理系専攻 教授

都市・大阪の未来

嘉名 光市
大学院工学研究科
都市系専攻 教授

都市農業

横井 修司
農学部附属教育研究フィールド長
大学院農学研究科
応用生物科学専攻 教授

大阪国際感染症研究センター

掛屋 弘
大学院医学研究科
臨床医科学専攻 教授

スマートシティ実現に向けた 大学の取り組み

阿多 信吾
大学院情報学研究科
基幹情報学専攻 教授

健康長寿医科学研究センター（仮称）

徳永 文稔
大学院医学研究科
基礎医科学専攻 教授

スポーツテックとリビングラボ

岡崎 和伸
都市健康・スポーツ研究センター所長
国際基幹教育機構 教授

産学連携分野の紹介（15:10～15:15）

注目の連携分野を紹介

大阪商工会議所と大阪公立大学などを設置する公立大学法人大阪は、大阪・関西の経済成長の加速と都市課題の解決を目指して、包括的な連携協定を締結します。本連携協定により、アカデミアから産業界へのシーズ移転や産学共同での都市の課題解決、新たな製品やサービスのリビングラボにおける実証等に取り組めます。（<https://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/202205/D23220809017.html>）

お申込み





辰巳砂 昌弘

大阪公立大学 学長

1980年3月大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士前期課程修了。工学博士。1980年4月より大阪府立大学工学部助手。1988年9月～1989年8月米国パデュー大学、米国アリゾナ州立大学博士研究員。1991年1月より大阪府立大学工学部講師、助教授を経て1996年4月同教授。2005年4月より同大学院工学研究科教授、副研究科長を経て2015年4月同研究科長。2019年4月より同大学学長、2022年4月より大阪公立大学学長に就任。無機材料化学、固体イオニクス、ガラス科学に関する研究に従事。



手代木 功

大阪商工会議所 副会頭（塩野義製薬株式会社 代表取締役会長兼社長）

1982年東京大学薬学部薬学科卒業、2000年薬学博士（東京大学）。1982年4月塩野義製薬株式会社入社、1987年8月から米国ニューヨークオフィス主席駐在員、1991年開発渉外部、1994年にシオノギ クオリカプス米国ノースカロライナ州出向（セールス マーケティングマネージャー）。その後、1999年秘書室長兼経営企画部長、2002年に取締役、2004年常務執行役員、医薬研究開発本部長、2006年専務執行役員、医薬研究開発本部長を経て、2008年4月から代表取締役社長。このほか、2010年7月から大阪商工会議所副会頭、2011年5月～2014年5月まで日本製薬工業協会会長、2018年5月～2021年5月まで日本製薬団体連合会会長など。



藤村 紀文

副学長（産学官協創・知財担当）・大学院工学研究科電子物理系専攻 教授

大阪府立大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。研究分野はものづくり技術（機械・電気電子・化学工学）、電気電子材料工学、機能デバイス物性。シャープ株式会社に就職。1987年より大阪府立大学助手、講師、助教授、ノースカロライナ州立大学准教授を経て、2003年大阪府立大学工学部教授。



横井 修司

農学部附属教育研究フィールド長・大学院農学研究科応用生物科学専攻 教授

東北大学大学院 農学研究科修了。博士（農学）。専門は植物育種学。1999年～2001年米国パデュー大学博士研究員。2002年奈良先端科学技術大学院大学 助教。2006年岩手大学 准教授。2015年大阪府立大学生命環境科学研究科 教授、2019年から附属教育研究フィールド長兼務、現在に至る。フィールドの立地を活かした都市農業の社会実装に取り組んでいる。



阿多 信吾

大学院情報学研究科基幹情報学専攻 教授

2000年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。2000年4月より大阪市立大学工学部情報工学科助手、講師、准教授を経て2013年4月大阪市立大学大学院工学研究科教授。2015年4月 大阪市立大学情報基盤センター所長兼任。2022年4月より大阪公立大学大学院情報学研究科教授、学長補佐（情報・データ戦略）、情報基盤センター長兼任。コンピュータネットワーク、情報通信、センシングに関する研究に従事。



岡崎 和伸

都市健康・スポーツ研究センター所長・国際基幹教育機構 教授

1996年筑波大学体育専門学群卒、1998年筑波大学大学院修士課程体育研究科修了修士（体育学）、2002年信州大学大学院博士課程医学研究科修了博士（医学）、2003年信州大学大学院医学研究科・特別研究員、2003年～2005年米国Institute for Exercise and Environmental Medicine・博士研究員、2005年～2008年長寿科学振興財団・リサーチレジデント（信州大学大学院医学研究科）、2009年大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター・講師、2011年同大学・准教授、2017年同大学・教授、2016年大阪市立大学健康科学イノベーションセンター・センター副所長、2018年同センター所長、2020年都市健康・スポーツ研究センター所長、2013年大阪市立大学学長奨励賞など受賞。



嘉名 光市

大学院工学研究科都市系専攻 教授

1968年大阪生まれ。2001年東京工業大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。技術士（都市及び地方計画）、一級建築士。専門は都市計画、都市デザイン、エリアマネジメント。京阪神を中心とした都市計画や都市再生デザインを实践。代表的取り組みとして、水都大阪の再生、御堂筋空間再編、中之島広場、神戸都心・三宮再整備、グレーターミナミ構想など。国土交通省「多様なニーズに応える道路空間」のあり方に関する検討会委員、大阪市都市景観委員会委員長、堺市都市計画審議会会長、神戸市都市計画審議会委員ほか。著書に『生きた景観マネジメント』（鹿島出版会）、『都市を変える水辺アクション：実践ガイド』（学芸出版社）ほか。主な受賞に、日本都市計画学会石川賞(2015年)、2017年日本建築学会賞（業績）。



掛屋 弘

大学院医学研究科臨床医科学専攻 教授

1992年（平成4年）長崎大学医学部卒業、第2内科に入局。河野 茂先生（現、長崎大学学長）のご指導の元、呼吸器感染症、特に真菌の研究に従事。大学院卒業後、米国国立衛生研究所（NIH）に留学。帰国後は、関連病院で呼吸器内科医として臨床経験を重ね、2007年6月より長崎大学病院・助教、その後、講師、准教授を経て、2013年4月より大阪市立大学大学院 臨床感染制御学講座 准教授として赴任。2014年10月より教授に就任。



徳永 文稔

大学院医学研究科副研究科長・教授

1990年九州大学大学院医学系研究科博士課程修了。専門は生化学、病態医化学。アルバート・アインシュタイン医科大学内分分泌学部門研究員、大阪市立大学大学院医学研究科准教授、大阪大学大学院医学系研究科准教授、群馬大学生体調節研究所教授を経て、2016年から大阪市立大学大学院医学研究科教授。2020年4月より現職、現在に至る。炎症応答シグナルの基礎解析と各種疾患との関連を研究している。